

視 察 報 告 書

八街市議会議長 湯浅 祐徳 様

会派 公明党

川上 雄次

先進地視察の概要を、下記のとおり報告いたします。

記

1. 視察参加者

川上 雄次

他に、四街道市議会

市橋 誠二郎議員と合同視察

2. 視察期間 平成27年 5月24日(日)～ 5月26日(火) (3日間)

3. 視察先、及び視察目的

| 日程 | 視察地 | 視察内容 |
|----------|--------|--|
| 5月24日(日) | 北海道石狩市 | ① 石狩市、(有)池端牧場視察 ② ミルクフレンド視察 |
| 5月25日(月) | 北海道恵庭市 | ① 「環境型社会形成推進施策」について ② 「恵庭市下水処理施設」視察 |
| 5月26日(火) | 北海道札幌市 | ① 「札幌市モエレ沼公園」視察 ② 「札幌市下水道科学館」視察 |

○ 主な、視察内容等

1、石狩市、 5月24日(日)

(有) 池端牧場の視察

2、視察会場 (有) 池端牧場

「ミルクフレンド」(札幌市内)

3、応対者 池端牧場、池端規明社長とその家族

4、視察先、調査事項の概要

(有) 池端牧場は家族経営が中心でありながら、営業内容は、成牛、育成牛、和牛、など180頭の飼育や、生乳販売、牧畜資材販売、有機野菜販売、そして人気の「ミルクフレンド」の経営など多角的に経営しており、6次産業の模範的な成功例で、5人の子息も家業を継いでおり、後継者作りでも、大いに参考になった。

同牧場が経営している、手作りソフトクリームが好評の「ミルクフレンド」を訪問した時は、店内に15人もの行列が出来ており、その人気に驚きました。

1、恵庭市 5月25日(月)

市の概要

北海道恵庭市は、札幌市と新千歳空港のほぼ中間に位置しており、恵まれた交通アクセスと穏やかな気候風土を持つまちとして、早くから住宅地整備や、公共下水道や大学・専門学校、工業団地などの都市基盤の整備が進められ着実に人口増が見込める市で、現在、恵庭市は第4期恵庭市総合計画(基本構想：平成18年～27年度)で将来都市像を「水・緑・花 人がふれあう生活都市」としを目指しているとの事でした。

2、視察会場 恵庭市下水処理場、会議室

3、応対者

| | | |
|-------------|-------|----|
| 恵庭市生活環境部、 | 津川 眞次 | 部長 |
| 水道部下水終末処理場 | 中田 吉彦 | 場長 |
| 生活環境部、環境政策室 | 高畑 一秀 | 室長 |
| 生活環境部、計画調整課 | 江蔵 正治 | 課長 |
| 議会事務局 | 森 司 | 次長 |
| 議会事務局 | 近藤 伸哉 | 主事 |

4、視察先調査事項の概要

①「環境型社会形成推進施策」と「恵庭市下水処理施設」 について

恵庭市はでは、最終処分場の延命化やごみの適切な処理等、喫緊の課題克服に向けて、市民提案を基にした「恵庭市環境型社会形成推進施策」により、ごみの減量化やリサイクルの推進に熱心に取り組んでいました。

この施策の一つが、平成24年より実施した「生ごみの分別収集」事業で、生ごみは、これまでは最終処分場にて埋立処理をしてものを、新たな取組として、生ごみから燃やせるごみを分別収集し、既存の下水最終処分場の設備を活用してバイオガス化処理を行っていました。

「環境型社会形成推進施策」では、バイオガス化で生まれたエネルギーを施設内の暖房や発電に利用しており、既存の下水道終末処理施設を利用した、家庭から出る生ごみのバイオガス化による発電は全国で始めて取り組みとの事でした。

5、調査事項に対する会派視察目的

八街市でも最終処分場の延命化と、ごみの減量化やリサイクルの推進は喫緊の課題であり、八街市、佐倉市、四街道市、酒々井町の印旛衛生施設管理組合の将来像を考える時、恵庭市の先進

的な施策には学ぶ事が多いとして視察先に選定しています。

6、市政との関連性（視察地選定の理由等）

6次産業への取り組み、「環境型社会形成推進施策」と「恵庭市下水処理施設」の先進事例、行政の廃棄物埋め立て地の有効利用の事例調査等、本市が抱えている課題解決への参考に成る視察地として選定した視察地です。

7、市政の課題等に対し参考になった点等

恵庭市の「環境型社会形成推進施策」は市民提案が基になった点や、その後、平成24年より実施された「生ごみの分別収集」事業では、市民の大きな協力が事業推進の原動力となっており、家庭から出る生ごみのバイオガス化による発電は、全国で始めて取り組みとして結実した事は協働の街作りとしても素晴らしい事業であると参考になりました。

1、札幌市、「モエレ沼公園」の視察 5月26日（火）

2、視察会場 公益財団法人 札幌市公園緑地協会
 「モエレ沼公園管理事務所」

視察先調査事項の概要

①行政の廃棄物埋め立て地の有効利用の事例調査として、先進地であるモエレ沼公園を選定、同公園は、札幌市北東部にあり、270万tの廃棄物を埋め立てた後に造成し、約1.89k㎡の都市公園となっている。

1982（昭和57）年に着工、2005（平成17）年7月に完成している。基本設計は日系アメリカ人のイサム・ノグチ氏。1988（昭和63）年末にノグチ氏が死去した後は、ノグチ氏の財団監修のもと実に23年の歳月を経て完成に至っている。

公園に立つというよりは、彫刻作品の内部に入るような感覚が体験できる公園で、調査日にも多くの市民が訪れており、指定管理者の、公益財団法人 札幌市公園緑地協会、モエレ沼公園管理事務所の行き届いた整備によって、かつての廃棄物埋立地が、すばらしい景観の市民が憩える名所になっていました。

本市のクリーンセンターの埋立処分場の将来の跡地利用を考える時には、参考に成ると思いました。

1、札幌市、「下水道科学館」の視察 5月26日（火）

2、視察会場 「下水道科学館、館内」

視察先調査事項の概要

①下水道は施設の大部分は地下にあり、その果たす役割は重要であっても、市民の目に触れる事の少ない事業です。

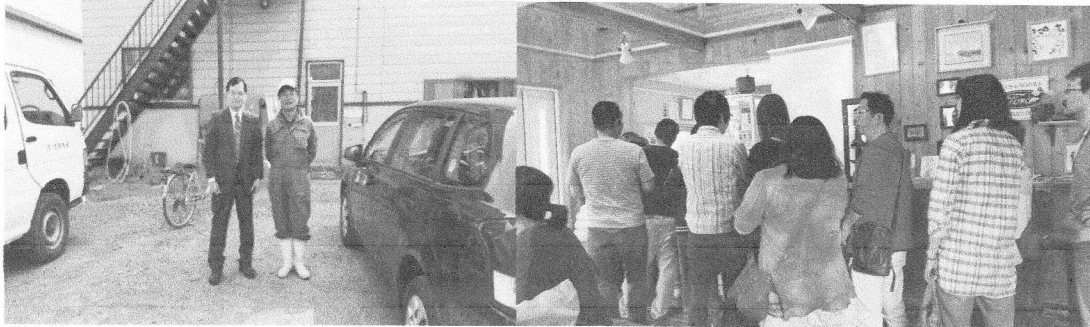
札幌市下水道科学館では下水道の仕組みや水環境の保全の役割、下水道の知識を楽しみながら市民が理解する施設として1997年に開館しており、小学校の環境教育や社会教育の一環としても活用されていました。

添付資料

- ① 視察写真
- ② 視察資料

視察写真、石狩市、恵庭市、札幌市（1）

平成27年5月24日～5月26日



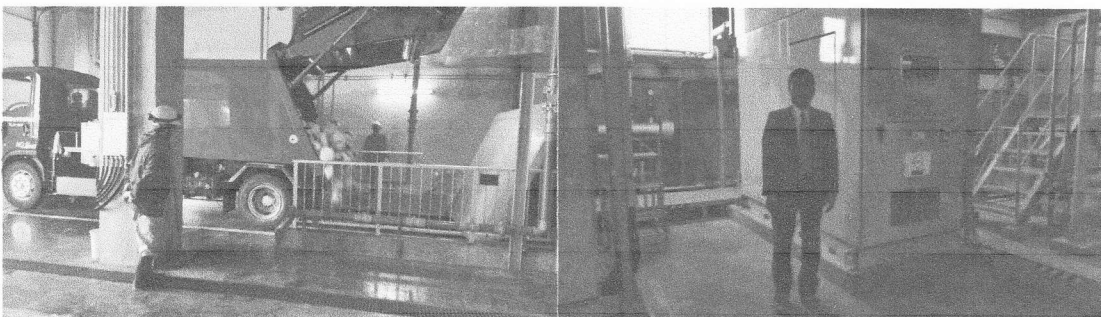
石狩市、池端牧場にて

ミルクフレンド、視察



ミルクフレンド、全景

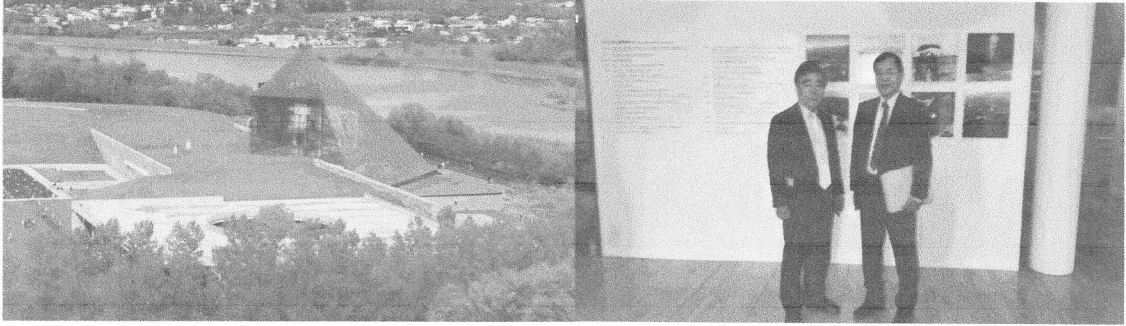
恵庭市バイオガス化施設



恵庭市「生ごみ分別収集」の回収

バイオガス発電機

視察写真、石狩市、恵庭市、札幌市（2）



モエレ沼公園、ガラスのピラミッド 館内の4つの貸室にて
(公園管理事務所も館内にあります)



モエレ山、標高62m、建設残土で出来ている



札幌市下水道科学館にて